

**令和3年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(相談支援部会)**

(1) 部会の継続について

- ・部会活動については、継続をしていく。
- ・部会の開催頻度については、部会員アンケートから、2-3~4カ月に一度の開催を希望する声が多かった。
- ・業務の兼ね合い・参加のしやすさ等から、ZOOMなどのオンラインツールの活用を積極的におこなって開催を望む声もあった。

(2) 部会の活動目的・求められている地域ニーズ

- ・部会の活動目的および活動方針については別紙（全部会員に配布済み）
- ・求められている地域ニーズについて、集約し検討していく活動を行っていく

(3) 専門部会の再編成について希望しますか

希望する 希望しない (どちらかに○をつけてください)

① 理由

「相談」を行っている障害福祉サービスは多いが、広くとらえてしまうと、まとまりがなくなってしまうと考える。しかし、各相談員の実態としては区内にどのような部会があるのか、どのような活動をしているのかを知らない状況もあるため、他の部会との交流の機会を希望する。

②今後の活動について

- ・一事業所で抱えている困難な状況のケース等について共有し、地域における課題として検討できる場となってほしい。
- ・取り上げる議題に偏りのないようにしてほしい。
- ・どこに出してよいか分からない課題について聞いてもらえる場となってほしい。その取扱いを検討して自立支援協議会への意見としてあげてほしい。

相談支援部会の活動方針

相談支援部会は、目黒区障害者自立支援協議会の専門部会として、区内の指定特定相談支援事業所に従事する相談支援専門員を中心に構成されています。

目的

- (1) 相談支援の実態や課題の把握、検討を行い、その内容を目黒区障害者自立支援協議会に報告する事で社会資源の開拓や改善を目指す。
- (2) 相談支援事業所等が円滑な相談業務を行うために情報の共有や検討を行う。
- (3) 相談支援業務等に携わる地域内外の関係機関等のネットワークの構築を行う。
- (4) その他相談支援業務を実施するうえで必要な事項を行う。

活動内容

- (1) 事例検討等を通して課題の抽出を行い、目黒区障害者自立支援協議会に報告や提案を行う。
- (2) 学習会や事例提供等を通して、相談支援専門員のスキルアップやフォローを行う。
- (3) 計画相談に関わる内容や制度、社会資源等の情報の交換、共有を行う。
- (4) その他、部会の活動目的を実現するために必要な活動を行う。

**令和3年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(高齢化・グループホーム対策部会)**

(1) 部会の継続について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会員からの概ねの意見として、本部会は継続したい。 ・ いずれの事業所もご利用者ご家族ともに、高齢化に起因する諸課題が多く、また重度化しており、本部会を通じて情報を収集・共有し、行動も起こしてゆく必要性を多くの部会員が認識している。
(2) 部会の活動目的・求められている地域ニーズ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化に関する喫緊の困りごと、近い将来に向けて山積する課題など、各段階に応じて講ずるべき具体的な支援内容を、少しでも早く各事業所が見出すことができるような部会活動としたい。 ・ 「グループホーム対策」について、部会として向き合う割合が近年やや低かったが、区内各GHのニーズ収集・把握も数量的に不足している。まずはここから改めて取り組むことで、今後の活動内容にも反映させてゆきたい。
(3) 専門部会の再編成について希望しますか
希望する・ <u>希望しない</u> (どちらかに○をつけてください)
① 理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会員からの概ねの意見として、本部会に関しては再編成の必要性は感じない。
② 今後の活動について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月に部会をオンラインで行いたい。グループホーム職員や介護保険サービス関係者など、新規部会員も募ってゆく。 ・ 2年前に部会イベントとして行った介護保険サービス関係者(主に西部地区ケアマネ)との学習会を、何らかの形で今後も継続してゆければ。出席者(各部会員)が各近隣ケアマネとのつながりも持ち、各事業所に必要な連携を少しでも進めやすくしたい。

**令和3年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(一般就労部会)**

<p>(1) 部会の継続について</p>
<p>従来通り一般就労部会として年間4回程度の開催で継続する 必要に応じて他の部会との合同開催は行う。</p>
<p>(2) 部会の活動目的・求められている地域ニーズ</p>
<p>各事業所との情報交換を行う中で、把握した課題を協議する 各事業所が抱える困難事例を検討する 本会の情報提供</p>
<p>(3) 専門部会の再編成について希望しますか</p>
<p>希望する・希望しない(どちらかに○をつけてください)</p>
<p>①理由</p>
<p>絶対的な部会の意思ではないので、必要に応じた柔軟な検討は可能です</p>
<p>②今後の活動について</p>
<p>(1) のとおり</p>

**令和3年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(施設就労部会)**

(1) 部会の継続について

部会については、現時点で開催しておりません(11月18日開催予定)。
2019年度に開催した部会の際には、情報交換の機会として必要という意見が多く出されました。また、従来は開催頻度を4半期に1回(年4回)程度にしていたが、その点についても部会員の意見としては、あまり頻繁に開催すると負担が大きくなるというので、従来程度の開催頻度が適切ということでした。

(2) 部会の活動目的・求められている地域ニーズ

大きな目的の一つが、利用者の工賃向上で、そのための情報交換や様々な取り組みを学ぶということ。もう一つは、各事業所が抱えている課題等について共有がある。

(3) 専門部会の再編成について希望しますか

希望する・希望しない(どちらかに○をつけてください)

①理由

部会開催がまだのため、今の時点で明確に希望を選択することができません。

②今後の活動について

従来の部会活動を再開して、定着することがまず必要。そのうえで、部会の再編や共同開催などを考えていきたい。

**令和3年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(子ども部会)**

(1) 部会の継続について
<p>10/19(火)10-12 オンラインにて部会を開催。事前アンケートにより部会員の希望を聞いたうえで協議をした結果、月1回適時様子を見ての開催とし、開催方法については直接集まったの開催を求める声も多くあったため、オンラインとのハイブリッド開催をすることとした。会場については区役所の会議室を利用し、事前にPC機器等の貸し出しをうける。暫定的に次回は11/16(火)10-12 オンライン開催を予定している。</p>
(2) 部会の活動目的・求められている地域ニーズ
<p>これまで掲げてきた、目黒区内の児童やその保護者に係る実態や課題の把握検討を行い協議会に報告することで社会資源の開拓や改善を目指す、事業所間での円滑な支援と連携を行うために情報共有や発信検討を行う、地域の関係機関等のネットワーク構築、月齢やライフステージに応じた支援体制の構築、その他支援を実施するうえで必要な事項を行う等、これまで部会で目的としてきた内容を継続するとともに、コロナ禍における新たなニーズの把握を行い解決を図っていく。</p> <p>具体的には家族の在宅時間が増えたことで起きた家庭環境の変化によるストレスの相談、外出先が制限される、感染予防対策に対して事業者にかかる負担の急激な増加、通所通学ができなくなったことでのオンライン対応、逆に学校からのタブレット配布により使用時間が増え運動不足や寝不足等、これまでにはない内容も増えて求められるニーズも多様になり複雑化している。そのことでよりいっそう関係機関との連携が求められている。</p>
(3) 専門部会の再編成について希望しますか
<p>希望する・希望しない (どちらかに○をつけてください)</p>
① 理由
<p>これまでも子ども部会では月1回のペースで部会を開催し、事例検討や児童館で人形劇を行う啓発活動、医療的ケア児家族へのアンケート調査等、こどもの課題に特化した課題の把握や検討を行ってきており、さらにコロナ禍における新たな課題やニーズに取り組むため専門部会としての必要性が高いため。</p>
② 今後の活動について
<p>これまでの活動を継続していくとともに、新たな課題となるコロナ禍における支援方法の検討や連携の構築、また新たに法制化された「医療的ケア児」への支援体制の拡充に向けた事例検討などによる情報の共有化と課題解決に向けた取り組みを実施していく。</p>

**令和3年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(意思疎通支援部会)**

<p>(1) 部会の継続について</p>
<p>当事者、家族が声を出せる場所があることは大切なので、運営の難しさはあるが、継続を希望したい。</p>
<p>(2) 部会の活動目的・求められている地域ニーズ</p>
<p>多障害の当事者が集まり、お互いの障害理解を深める場となっている。また、話を進める中から、区の計画に対するパブリックコメントをまとめたり、改善要望につなげるため、声を出す場となっている。実際、選挙会場での接遇マニュアル作成等、合理的配慮の要望が反映されている。</p>
<p>(3) 専門部会の再編成について希望しますか</p>
<p>希望する・希望しない（どちらかに○をつけてください）</p>
<p>① 理由</p>
<p>・形を変えることは簡単だが、また立ち上げるのは大変な労力がかかるため、熟考が必要。意思疎通支援部会がなくなると、当事者、家族の視点が自立支援協議会の中に反映されにくくなる。</p> <p>・再編も一案だが、現在の形でお互いの部会の活動内容を知ることが先に検討することもよいのではないか。今の専門部会、一つ一つが大切。意思疎通支援は全部の部会に共通しているテーマであるため、他の部会とどうリンクしていくかが課題。防災部会、子ども部会などとも懇談など年1回ぐらい活動できないか検討したい。</p> <p>・多障害の部会員でそれぞれ必要としている支援も違うため、毎回報告が団体の活動内容のような事例にとどまってしまう感がある。障害者自立支援協議会も設置から何年も経過しその間の障害者に関わる環境もだいぶ変化したと思うので、再編の話があるのならば、検討してみるのも一案との意見もある。</p>
<p>② 今後の活動について</p>
<p>・障害特性から、リモートでの開催が難しいため、実施方法を検討する必要がある。</p> <p>・現在の部会で共有したことをどう見える化していくか、解決に向けてどう活動するかが課題。</p> <p>・現在、当事者メンバーは聴覚障害・視覚障害・高次脳機能障害・肢体不自由だが、発達障害や知的障害などの当事者にも可能であれば入ってもらいたいと考えている。</p>

令和3年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(防災部会)

(1) 部会の継続について
再編成した上で継続を希望 フレンズ 国松 ナイスケア徳永 他は未確認
(2) 部会の活動目的・求められている地域ニーズ
目黒区の要配慮者・要支援者に対する個別援助計画 福祉避難所での対応 施設・事業所のBCP計画作成 など
(3) 専門部会の再編成について希望しますか
<input checked="" type="radio"/> 希望する・希望しない(どちらかに○をつけてください)
① 理由
協議会全体が災害時行動計画に反省すべき課題であるため 住民・行政・消防・事業者など交えて検討する必要性を感じる。
② 今後の活動について
各部会から災害時に対する課題を集約して 地域の現状や目黒区災害時計画?のような指針の理解から 現場で可能なBCPにつなげる活動が出来ればと思います。